

(1) 成績評価

成績の評価は、5段階で行われる。成績表示及びグレード・ポイント（GP）は以下の通りとする。

GPA	評価	成績評価基準	可否	単位	GP	評価内容
対象	A	100-90 点	合格	修得	4.0	秀でている
	B	89-80 点			3.0	優れている
	C	79-70 点			2.0	妥当と認められる
	D	69-60 点			1.0	合格と認められる
	F	59-0 点	不合格	未修得	0.0	合格と認められる最低限の成績に達していない
対象外	P	100-60 点	合格	修得	—	合格と認められる
	NP	59-0 点	不合格	未修得	—	合格と認められる最低限の成績に達していない
	R	単位認定科目	—	修得	—	他大学等で修得した単位を本学の単位として認定
	W	履修中止	—	未修得	—	所定の手続きを経て履修を中止

(2) GPA (Grade Point Average)

① 計算方法

GPA は単位当たりの成績の平均値で、以下の計算式により算出する（少数点第 3 位は四捨五入）。

GPA の算出法	
$\frac{\text{当該期間における [(4.0 \times \text{A の修得単位数}) + (3.0 \times \text{B の修得単位数}) + (2.0 \times \text{C の修得単位数}) + (1.0 \times \text{D の修得単位数})]}{\text{当該期間における総履修登録単位数 (F の単位数を含む)}}$	

計算例

科目名	単位数	成績	GP
科目 a	3	A	4.0
科目 b	1	B	3.0
科目 c	3	D	1.0
科目 d	3	F	0.0
科目 e	3	W	対象外
科目 f	3	P	対象外
GPA 対象科目の総履修登録単位数	10		

<p>累積 GPA の計算式：</p> $\frac{4.0 \times 3 + 3.0 \times 1 + 1.0 \times 3}{3 + 1 + 3 + 3} = 1.8$
--

不合格の評価を受けた科目を再履修した場合、初めて履修したときに受けた評価は GPA に算入せず、再履修して受けた評価のみを算入する。例えば、「F」評価を受けた科目を再履修し「A」評価を受けた場合、「A」評価のみを GPA 計算に含める。評価が、「P」や「NP」（「アカデミック英語 A」、「アカデミック英語 B」、「卒業研究」、「インターンシップ」）、「R」（単位互換科目）、「W」（履修中止科目）となる科目は含めない。

② GPA の活用方法

- 以下の基準を下回る成績不振者に対し、個別学修指導（退学勧告を含む）を実施する。

審査時期	GPA 基準	単位基準
1 年次終了時	1.0 未満	19 単位未満
2 年次終了時		44 単位未満
3 年次終了時		84 単位未満

- GPA の分布状況を分析または公開し、学部間、メジャー間、教員間等の成績評価の平準化に努める
- 「アカデミック英語」の達成度を測る基準とする
- 学生表彰、奨学金や授業料減免等の選考基準とする

(3) 成績発表

成績は、前期は 8 月下旬に、後期は 1 月下旬に UNIPA で発表する。「アカデミック英語」の進級及び修了の可否は、授業最終日から約 1 週間後に発表し、「アカデミック英語」の冬季特別授業の成績は 3 月下旬に発表する。保証人も UNIPA で学生の成績を照会できる。

(4) 成績問い合わせ

授業科目の成績評価について、科目担当教員の成績評価の誤記入等が疑われる場合や、シラバスに記載された到達目標、成績評価基準及び成績の評価方法に照らして、評価に疑義がある場合、担当教員に対し直接確認するか、成績評価に関する問合せ書を用いて iCLA 事務室を通じて教員に問い合わせることができる。問い合わせ期日は成績評価が公開された日の翌日から 3 日以内とする。iCLA 事務室を通じて問い合わせた場合、教員は iCLA 事務室が不備なく記入済みの問い合わせ書を学生から受領した日の翌日から 5 日以内に回答する。

(5) 卒業判定

学生が卒業要件を満たし学位を修得できるかを学部教授会にて判定することを卒業判定という。卒業判定の結果は、前期は 8 月末に、後期は 2 月に、学生に通知する。